



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2011年3月 No.346
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2010~2011)	
センテニアルクラブ会長	：『創造と協同、みんなの願いを前へ』
東京セントラルクラブ会長	：『ひとつとなって YMCAへ』
国際会長	：『明日への橋を架けよう』
アジア地域会長	：『心新たに立ち上がろう』
西日本区理事	：『飛翔たとう ワイズスプリットを胸に』
中西部部長	：『豊かに、そして拡がりのあるワイズライフを !!』

クラブ役員	Officers
会 長	： 新保 正秋
副会長	： 谷川 寛
書 記	： 石津 雅人
会 計	： 藤原 正巳
メネット会長	： 山中 ちあき
Y連絡職員	： 鍛治田 千文

Biblical Message of March

March Club Meeting

『 EF/JWF 』

だから、あすのことを思いわずらうな。あすのことは、あす自身が思いわずらうであろう。一日の苦勞は、その日一日だけで十分である。
 (マタイによる福音書第6章34節)

3 月 第 1 例 会

日時：2011年3月16日(水) 18:30~20:30
 場所：ホテルグランヴィア大阪 21 階

司会：藤原 正巳 君

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1.開会点鐘 | 新保 正秋 会長 |
| 2.ワイズソング | 一 同 |
| 3.聖句朗読 | 谷川 寛 君 |
| 4.ゲスト・ビジター紹介 | 新保 正秋 会長 |
| 5.今月の強調活動 | 山田 孝彦 君 |
| 6.入会式 芝田光雄 君 | 新保 正秋 会長 |
| 7.晩餐 | 一 同 |
| 8.卓話「歴史を語る日本の城：天下人の城を巡る」 | 城郭研究家・高森 雅己 さん |
| 9.連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 10.誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同 |
| 11. 閉会点鐘 | 新保 正秋 会長 |

3 月 第 2 例 会

日時：2011年3月23日(水) 18:30~20:30
 場所：土佐堀YMCA会館4階

3 月のお誕生日 谷川メネット(17日)、松浦メン(22日)
 中村珠メネット(25日)

例会担当

3 班：石津、岡本、隅田、谷川、松浦、三浦の各メン

Rainy day note

鍛治田 千文

表コミ3年生には「マナー」の授業があり、人と人が気持ちよく生きられるために、人として必要なマナーを学び、すてきな高校生をめざしています。

卒業前の最後の授業では、マナーを離れて「Rainy day note」を作りました。これは、アメリカのベトナム戦争後のことです。ある高校の同窓会で、一人の母親が元教員に「あの子が大切にしていたものです」と示した小さなメモ。それはその教員が、クラスの一人ひとりにあてたその生徒の良いところをいっぱい書いたメモでした。戦死したその子の胸のポケットに入っていたというのです。

「戦地の過酷な中、あの子は何度もこれを取り出して、自分を励ましていたのでしょう。いつ死ぬかわからない状況で、これは生きる力になっていたと思います。」と母親は涙ながらに語ったそうです。つらい時に力をあたえてくれるもの、それが「Rainy day note」です。

3人一組になり、2分間、二人はその横にいる生徒の良い所を話し続けます。その生徒は決して口をはさまず、それを黙々と書き写します。最初は「照れくさい」「いやや」と言った生徒も、スタートすると真剣です。「人間らしい」「人として一番大切なものを持っている」「人を大切に」「控えめだけどしっかりしている」「努力家」「いいこだわりがある」「誰に対しても同じ態度」「周りをよくみている」「困っている人を見つめられる」「いいセンスをしている」「繊細」後から後から仲間を認める言葉が溢れます。皆、本当によく理解しています。3年間の積み重ねを感じさせられました。

終わってから「嬉しかった」「恥ずかしかった」「自分のそんなところ、気づかなかった」「気持ちよかった」と。このnoteは卒業日の日に、自分を肯定できるようになった生徒達に返します。

次回は坂本哲朗さんです。

【クラブ統計 Statistics】

2011年2月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21名	メ ン	15名	11名	2 月 592g	2月： 28,900円
例会出席 17名	メネット	6名	0名		
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名	現 金 7,457g	累 計：153,209円
出席率 81%	ゲ ス ト	2名	0名		
	合 計	23名	11名	現 金 500円	

2月第2例会

日時：2月23日(水)18:30~18:50
場所：大阪YMCA 土佐堀会館4階
出席：石津、大村、岡本、鍛治田、坂本、新保、中村茂、藤原、松浦、三浦、山中

- 2月第1例会の反省
 - 海外保険の話はためになる話でした。営業の話の部分は少しわかりにくい点もあった。
 - 質問時間をもっと取れたらよかった。
- 3月第一例会の運営について
- 第3回センテニアル寄席について
- 今後の例会
 - 4月：司会/三浦さん：卓話「東住吉高校芸能文化科の話」
 - 5月：岡本さん ・6月：石津さん
- クラブ(ワイズ)リーフレットの製作
担当：岡本さん
- その他
 - 西日本区大会(6/11-12、ウェスティン都ホテル京都葵殿)申し込みは4/20締め切り=新保まで
 - 3、4月第2例会で、規約や30周年記念行事を検討してゆく。
 - 5/14(土)キックオフ例会(六甲YMCA)の出欠・宿泊の有無は石津さんまで
 - 3/19(土)80周年行事(東京クラブ)
 - 4/16(土)40周年記念例会(京都パレス)
 - 3/5(土)表現コミュニケーション学科卒業公演

(新保 正秋)



YMCAニュース

表現・コミュニケーション学科卒業公演
表コミ生の3年間の集大成です。鍛治田総合病院で繰り広げるコメディ、是非ご覧ください。

日時 3月5日(土)14:00~16:00
場所 大阪YMCA会館ホール
内容 1年(30分)マダン劇(韓国の大衆演劇)
3年(90分)おはようございます

早天祈祷会

日時 3月18日(金)7:30~8:30
場所 大阪YMCA会館チャペル
証し 石橋英樹氏(上町校スタッフ)

表コミニュース

マダン劇を日本人がするのは初めて、ということで新聞社の取材がはいります。

(鍛治田 千文)

目の前の仕事の山に圧倒され、早く終えて後でゆっくり休もうと急いで仕終えても、やるべき仕事は次々現れて、いつになってもゆとりの時間はやってきません。仕事を片付けるのではなく、今やっていることに心を入れて、今日やるべきことは今日やり終え、明日は明日のやるべきことをやって行くメリハリのある時間の中にゆとりの時間も生まれてくるものです。

聖句選/コメント：石津 雅人

(次回は、福永 嘉彦さんです)

2月第1例会

とき：2月16日(水)18:30~21:00

ところ：ホテル グランヴィア大阪 21階



谷川寛ワイズ

寒い日が続く2月は、TOF(Time of Fast) 食事なしのケーキとお茶での例会です。谷川寛さんから、私たちの献金が世界の開発途上国のYMCAの青少年活動に使われていること

の説明後、いよいよメインプログラムの卓話。

今月は、当クラブでも海外旅行をする人が多いなか、海外で起きた事故を通して保険の大切さを学ぶお話。「ゴルフのホールインワン以外はとても暗い話。それをどう明るく話をすればよいのか悩んだ」という損保会社の平野孝弥さんにお話をうかがいました。



例会風景

海外保険の加入率は現在30%。徐々に下がっている原因はクレジットカードに付いている保険に対する過信とのこと。しかし保険の中身を知る人は意外と少なく、いざ病気や事故に遭遇して困ってしまうのが実情のようです。モルジブの新婚旅行での新郎の病死事故や、韓国釜山の射撃場での火災事故の例を取り上げ、治療費、搬送費など莫大な経費がかかることを指摘、任意保険に加入することの大切さを述べました。クレジットカードに付いている保険。ところが集中治療室(ICU)に入った場合、1日200万円、ストレッチャーで日本に搬送する場合、航空機の座席をいくつかつづして500万円。楽しいばかりが先行しがちな海外旅行に対する、啓発的なお話を聞くことができました。(中村 茂高)

谷川 寛

2008 年秋に始まった世界的金融危機を、日本では「リーマン・ショック」と呼んでいます。この年の9月に米投資銀行リーマン・ブラザーズ(Lehman Brothers)が過剰な住宅投資の末に破綻しました。この破綻はそれ以降、アメリカだけでなく、世界的な信用不安の引き金となり、金融危機が世界に広がりました。一時期、「大恐慌」以来の金融危機と言われましたが、「1930年代の再来」はどうやら避けられたようです。



破綻したリーマン・ブラザーズの本社は、マンハッタン中心部の7番街745番地にありました。あれから3年。「リスクの震源地」となったこの建物は、いまやパークレイズ・キャピタル(Barclays Capital)に代わりました。この辺りは、ブロードウェイのタイムズ・スクエア(Times Square)に近く、夜でも大変賑わっています。上映している新しい映画の広告が目に入りました。“Wall Street: Money Never Sleeps”です。1980年代の狂乱のウォール街を描いた「ウォール・ストリート」という映画の続編です。あのマイケル・ダグラスが扮するGordon Gekkoが“Greed is good”(強欲はよいことだ)と豪語していたのを思い出します。日本でも今、その続編が上映されています。リーマン・ショックの後遺症は今も残り、アメリカの雇用改善も遅れており、最近中東危機が加わりました。景気回復が遅れています。それでも、ニューヨークは、相変わらず、観光産業と金融業がよく似合う街です。



マダン劇

マダンとは「広場」、「中庭」を意味します。1970~80年代にかけて、韓国の若者たちが演劇の世界で創りあげた演劇のひとつのスタイルですが、その根源は民俗文化に由来します。朝鮮半島で古くから民衆に愛されてきた芸能のスタイルとして、風刺劇やタルチュム(仮面踊り)、農楽(チャンゴ、ケンガリ、ブク、チンの4種類の打楽器を用いた演奏)などがマダンで行われてきました。マダンの周りを観客がぐるりと取り囲み、演者と観客が声をかけあいながら、一体となって楽しむのです。それを西洋から入ってきた舞台演劇に取り入れ、民衆の伝統的な文化の楽しみ方を再現したのがマダン劇、もしくはマダンノリといえます。

石津(330g)、中村茂(60g)、山田(50g)、
隅田・谷川・山中(各40g)、新保(20g)、
岡本(7g)、福永(5g) 計 592g



第3回 センテニアル寄席

桂吉弥落語会を2月26日(土)に大阪YMCA土佐堀会館9階で行いました。下記はアンケートの抜粋です。

- ・話のメリハリと表情の豊かさ、いつもおなかの底から笑えます。会を重ねることに楽しさが増します。
- ・2席の語り、すばらしいでした。さぞお疲れでしょう、ありがとうございます。
- ・いつも身体全体を使っての熱演にその物語が手に取るように分かり楽しく見せていただきました。
- ・吉弥さんの落語はメリハリが利いて大変おもしろかったです。



Club Activities (February, 2011)

Kan Tanikawa

On February 16, 2011, a total of 19 Y's Men and Y's Menettes plus 1 guest gathered at Hotel Granvia. The meeting was presided by Shigetaka Nakamura. Acknowledging this month's emphasis on "Time of Fast" program, we skipped our meal to make contribution to the TOF project. Kan Tanikawa outlined the purpose, referring to his past experiences as ISD TOF program. He regrets very little information has lately given from YIHQ over the current theme of the project, where the money has lately been spent, etc.

Our guest speaker, Takaya Hirano, a general sales manager of an insurance company spoke about a travel (accident) insurance, quoting a couple of accidents his company was involved. He strongly suggests us to buy extra insurance when traveling abroad to cope with possible accident. Several questions were raised from among our members.

Our club president, Masaaki Shimo gave us a short briefing on upcoming events. 27,900 yen was raised for our club's Niko-niko funds.

ニコニコ・メッセージ
【Messages from the Club Members】

会員からのメッセージ

旅行時に保険を掛けたことが無く今まで何事も無く無事に済んできましたが、次は「何か起こるかもしれませんネ？」、保険を掛けるようにしたいと考えています。

(石津 雅人)

保険のことを深く考えた事はありませんでしたが、今後は自分の体は自分だけのものではない事を考えても保険もしっかりと考えないといけないと思いました。

(岡本 剛介)

本日の卓話、ケースを踏まえて保険について丁寧にお話し頂き、とても勉強になりました。ありがとうございました。

(大畑 慎治)

いざというときの保険の大切さが身にしみました。

(小野 都子)

旅行時の保険のこと、大変参考になりました。

(坂本 哲朗)

今日はゲストに芝田さん、スピーカーに平野さんに来ていただきました。今日は食事は無しにケーキとコーヒーでTOFの意義を考えました。平野さんの話を聞いて外国に行くのは、やめとこーと思ったところです。

(新保 正秋)

もしもの時の保険ですが、安心の為には必要な物だと重くお話を伺いました。ありがとうございました。

(隅田 恵子)

海外旅行保険の話、大変興味のある話でした。

(谷川 寛)

初めて京都の雪を見ました。感激でした。

(中村 幸枝)

寒い日々も元気に過ごすことが出来、今日も例会に出席することが出来て感謝です！今日のお話も旅行する時の大切な事でよく聞かせて頂きました。

(福永 嘉彦・滋子)

平野さんよく来ていただきました。これから末長くワイズでもお付き合いできますように。また、芝田さんがご入会していただけることを大歓迎です！(松浦 孝次)

今月はTOFで食事のない月で飽食の日本の現状を省みる機会としたいです。

(三浦 直之)

今、我が家から見上げる六甲山は雪におおわれています。山頂では「氷の祭典」と言って六甲山で営業する企業が出店にフェスティバルを開催中です。氷の彫刻や雪人形等の展示会もあり賑やかにお祭りをしています。

“六甲YMCA”は焼き芋屋を出店、私も夫婦で10日(木)に一日店員で奉仕し楽しんで来ました。(山田 孝彦)

平野孝弥さんの興味ある卓話に感謝、大変勉強になりました。

(山中 秀男)

早いもので夫・幸明が亡くなり七回忌を向えました。生前はお世話になりました。今はきっと天国から見ていてくれると思います。感謝申し上げます。(山村 利子)

2011年2月17日から21日の5日間、久しぶりに第二の故郷、香港を訪問しました。今回の訪問は、毎年早春に実施している仲間との海外ゴルフツアーの一環でしたが、折角の機会でもあり、2月18日夕刻、香港ボヒニアクラブの皆さんと交流の機会を持ちました。場所は香港島セントラル地区にある「香港蘇浙滬同郷會餐廳」という上海料理の店でしたが、Margaret Lo 会長ほか9名の会員とコメントがご出席頂き、珍しい上海料理を食べながら、楽しい交流のひと時を過ごしました。話題はクラブの運営から地域の動向、更には日本占領時代の香港まで広範に及びましたが、ワイズメンであることがいかに海外での滞在を豊かにするかを立証できた旅でした。当日ご出席頂きました皆様は下記の通りです。

(敬称略、Cut out prefixes from the name)

Margaret Lo, Virginia Wong, Eilsie Woo, Goretti Chue, Sophia Fong & his son Ronald Lam, Wilma Tong, Bonnie Au & Dairy Wong



後記

センテニアル落語で、NHKの朝ドラ「てっぺん」に、桂吉弥さんがちょいと出演と聞いて、月曜日のテレビに目を凝らした方も多かったのではないかと思います。

ところがついぞ出ぬまま、「あれ、明日かな」と思った私もその一人。声だけの出演をつい見逃してしまいました。

洗濯していた下宿人の滝沢君がイヤホーンで聴いていた落語の主が吉弥さんでした。古典落語の演目の一つお馴染み「崇徳院」。「瀬をはやみ、岩にせかるる滝川の、われても末にあはむとぞ思ふ」。百人一首77番の恋歌で「流れが速いので、岩に遮られて二手に分かれている川の流れがまた一つに合流するように、今別れ別れになっているあなたともまたいつか逢いたいと思っています」との意味だそうです。

さてさて滝沢君と主人公のあかりの恋の成行きを、今一番の熱い思いで見守る視聴者にとっては、二人の恋の行方を暗示する大事な数十秒でした。

(中村 茂高)

